

令和8年度 第3回 桜木中学校 学校運営協議会 議事録

開催日時・場所

日時：令和8年7月15日（水） 16:00～17:30

場所：桜木中学校

役職	氏名	所属・役職
委員長	五十嵐 佳緒	世田谷小学校・桜木中学校 青少年委員
委員	深美 明香	上町地区主任児童委員
委員	門屋 貴久	日本体育大学 准教授
委員	岡本 ひとみ	前学校関係者評価委員会 委員長
委員	立川 宰輝	桜木中学校PTA会長
委員	ラム 文里	桜小学校PTA
委員	三田 恵	世田谷小学校PTA
委員	野村 風歌	桜木中学校 卒業生
委員	中村 幸子	桜木中学校PTA役員
委員	菊地 智子	桜木中学校PTA役員
委員	石井 達也	桜木中学校校長
事務局	市原 一	副校長
事務局	山元 良太	経営主任

委員長より

- ・職場体験の生徒さんがとても良い働きをしてくれていると聞いている。
- ・インフルエンザの流行が始まったので、皆さん気をつけてほしい。

校長より

- ・2学期の始業式は、落ち着いて始めることができた。
- ・9/7(月)の休校は予想外だった。休校のため、2学年職場体験（9/8～10）の事前指導ができず、職場体験の初日に多少の対応があった。
- ・2学年職場体験。体験先で桜木中生の評判は非常に良かった。頑張ったためか、体調不良により早退する生徒が例年に比べ多かった。
- ・インフルエンザの流行が早い。桜木中ではまだインフルエンザの報告はないが、流行に備えて9/14～18の週に朝のロイロノートによる健康観察を行う予定である。
- ・3学年修学旅行生徒アンケート（別紙あり）を行った。アンケートから自然や環境への興味が感じられる。

① 学校評価について

学校より、令和8年度の学校評価について説明があった。評価の大項目として、以下の6項目を設定する。

- (1) 学ぶことの楽しさを実感できる学校
- (2) 全ての教育活動に対する、教育目標への位置づけ
- (3) 教育活動の質の向上
- (4) 個別最適な指導の充実
- (5) 地域運営学校について
- (6) 教科「日本語」について

生徒・保護者アンケート等から各項目に関連する指標を設定し、学校の自己評価を行った上で、学校運営協議会から意見・評価を受け、次年度の改善につなげる。

「地域運営学校について」では、「巴の学び舎」や小学校との交流・ボランティア活動等について、生徒・保護者への認知を高める必要があるとの意見があった。

「教科『日本語』について」では、日本語の体験活動を通して文化や伝統に触れることの意義を評価する項目を設定することについて意見交換を行った。

② 定期考査期間の学習支援について

定期考査前の図書室での学習支援について説明があり、協議した。支援内容は、試験勉強をする生徒の見守り、安全確保、落ち着いた学習環境の確保であることを確認した。

保護者を対象にすぐー等で募集し、Formsによる事前登録制とする方向で検討する。教科指導を必須としないことから、活動内容が伝わりやすく、参加しやすい名称についても検討する。

今後、チームリーダーの選出、支援員との事前打合せ、希望生徒の募集方法等について引き続き検討する。

③ 地域人材を活用した面接練習について

令和9年度は、生徒数が40名以上多くなるため、3年生の面接練習に、社会人・人事等の経験を持つ地域人材に協力してもらう案について協議した。

教員と地域人材がペアとなり、生徒が自分の経験や考えを言葉で伝える力を育てるとともに、地域との交流につなげる方向で検討する。

④ 学校行事・教育活動について

学校公開に合わせ、作品展示を分割して実施する予定である。

各学年の学習活動や職場体験等についても、すぐーやホームページ等を活用して発信していく。